

1 学年 国語 ガイダンスシラバス

担当：森山 央

1. 国語を学ぶねらい

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり、理解したりすることができるようにする。
- 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
- 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2. 国語の学習で高めていく資質・能力

- 「知識及び技能」
漢字・文法・伝統的な言語文化・情報の扱い方・読書・書写等
- 「思考力・判断力・表現力」
 - ・スピーチ、朗読、プレゼンテーション、討論活動等
 - ・感想文、200字作文等
 - ・読解のためのワークシートの取り組み
 - ・定期テストにおける説明的文章や文学作品、古典の読み取り等
- 「学びに向かう力、人間性」
主体的に学習に取り組む態度（意味調べ、課題に対する取り組み）
※「知識及び技能」の観点、「思考力・判断力・表現力」の観点の評価を含む。

3. 学習方法

- 「知識及び技能」
 - ・漢字テスト、文法テスト、古文の視写、暗唱等
 - ・定期テストの「知識及び技能」の観点
- 「思考力・判断力・表現力」
 - ・読み取りワークシート1、読み取りワークシート2、段落分けワークシート等
 - ・200字テーマ作文、400字読書感想文、POP作成、ビブリオバトル等
 - ・討論活動の様子、1分間スピーチ、朗読等
 - ・定期テストの「思考力、判断力、表現力等」の観点
- 「学びに向かう力、人間性」
 - ・「知識及び技能」の観点の評価
 - ・「思考力、判断力、表現力等」の観点の評価
 - ・語句の意味調べ、長期休業中の課題等

4. 持ち物

国語の教科書、基礎の学習、国語便覧、文法ワーク、作文ノート、書写バッグ
※書写バッグは必要な時に連絡します。持ち物は、ロッカーに置いて良いです。

5. 学習の評価と方法

- ① 「知識及び技能」
 - ・漢字テストは10点満点を基本とする。長期休業明けに50題テストを行う。

- ・ 文法テストは単元確認テストを状況に応じて配点し行う。
- ・ 古文の視写、暗唱はS、A○、A、B○、B、B×、Cで評価する。
減点無しがS、減点1がA○、減点2がA、減点3～5がB○、減点6～10がB、減点11以上がB×、未完成は状況に応じてCとする。
※Sは満点、A○は満点に対して9割、Aは8割、B○は7割、Bは6割、B×は5割、Cは状況に応じて2～4割の配点。

② 「思考力・判断力・表現力」

- ・ 各種ワークシートはS、A○、A、B○、B、B×、Cで評価する。
指示された内容を満たしていればB、より良く満たしていればAかA○、誰が見ても感心するような出来栄えがS。内容に欠落がある場合はCで評価する。
※評価の配点は「知識及び技能」の観点の※印に準ずる。
- ・ 各種作文はS、A○、A、B○、B、B×、Cで評価する。
条件を半分満たしていればB、指定された条件をすべて満たしていればAかA○。条件をすべて満たした上で内容に独創性が認められる場合はS。条件が半分未満の場合はCとする。
※評価の配点は「知識及び技能」の観点の※印に準ずる。
- ・ 討論の様子、資料はA、B、Cで評価する。Aは満点、Bは満点に対して8割、Cは5割とする。指示された内容を満たしていればB、より良く満たしていればA。ほぼ討論に参加している場合や資料の内容に欠落がある場合はCで評価する。
- ・ スピーチ原稿は討論資料と同様に評価する。1分間スピーチは指示された内容が満たされた状態で1分間±1秒がS、±5秒がA○、A、それ以外の秒数はB○以下とする。A○とA、B○以下はいずれも発表内容により評価する。
- ・ 夏季冬季課題の創作俳句のPOPに関して指示された内容を満たしていればAかA○、条件をすべて満たし、さらに内容に独創性が認められる場合はS、提出した上で条件を満たしていればBかB○、未提出の場合はCとする。
※評価の配点は「知識及び技能」の観点の※印に準ずる。

③ 「学びに向かう力、人間性」

- ・ 「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。
- ・ 思考力、判断力、表現力の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。
- ・ 授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。
- ・ 指定された読み物の語句の意味を調べることで評価する。条件を満たしていない場合は5割の評価をする。条件をほぼ満たしていないと認められる場合は未提出とみなす。
- ・ 長期休業中の課題について。夏季は①基礎の学習②俳句③読書感想文、冬季は①基礎の学習②俳句③書き初めとする。指示通りに取り組むと満点。期限を過ぎると減点される。

6. 先生からのアドバイス

以下の点に注意して取り組みましょう。

- ① 漢字テストや各種小テストの得点力をつけるために繰り返し勉強しましょう。
- ② ワークシートは出来栄えによって評価が異なります。どのくらいの評価を狙うかを考えて自分なりに取り組みましょう。
- ③ 作文は指示された内容を満たせるよう努力しましょう。得手不得手があるので、自分なりの目標設定をして取り組んでください。

7. 年間学習計画（学習計画は変わることがあります。）

学期	月	単元名 学習の内容	学習の目標	評価方法
1	4	朝のリレー	詩に込められた思いを理解し、それを踏まえて音読・発表することができる。	意味調べ 朗読の様子 読取ワークシート 1
	5	はじまりの風 文法 ダイコンは大きな根 ちょっと立ち止まって	文学作品の内容を理解し、展開を捉えることができる。 言葉の単位を理解することができる。 説明的文章の段落の役割を読み取ることができる。 観点を決めて情報を整理し伝えることができる。 説明的文章の構成・展開を読み取ることができる。	段落分けワークシート 小テスト 定期テスト 1 分間スピーチ
	6	情報を整理して説明しよう(スピーチ)	自分の思いをわかりやすく伝えることができる。	ビブリオバトル
	7	読書生活を楽しむ	自分のおすすめの本を紹介できる。	
2	9	大人になれなかった 弟たちに・・・	内容を理解し、戦争についての意識を高める。	意味調べ 読取ワークシート 1, 2
	10	星の花が降るころに 「言葉」を持つ鳥 文法 蓬莱の球の枝 言語文化	描写を基に、内容を捉えることができる。 図表の効果を理解し、記録文の特徴を捉える。 文の組み立て、文節について理解することができる。 歴史的仮名遣いを理解して、音読できる。 百人一首や古典について知り、内容を捉えることができる。	段落分けワークシート 暗唱テスト
	11	文法 読書活動 君たちはどう生きるか	文節、文の成分について理解することができる。 本に親しみ、これからの読書生活について考えることができる。	小テスト 定期テスト
	12	書写（毛筆）	字形を整えて書くことができる（書き初め練習）。	授業課題
3	1	今に生きる言葉	本文の内容を理解し、要約することができる。 漢文に対する理解を深める。	朗読テスト
	2	「不便」の価値 少年の日の思い出	自分の生活に結び付けて考えることができる。 場面の展開や表現について捉えることができる。	討論活動の様子 読取ワークシート 1, 2
	3	二十歳になった日 文法 一年間の学びを振り返ろう	描写を基に筆者の考えを捉えることができる。 単語の分類を理解することができる。	小テスト 定期テスト

※語彙・漢字の学習は年間を通して行う。